

CONTENTS

特集 ● 腹膜透析の展開 — 生き残りをかけた在宅医療

■ 腹膜透析システム	4
はじめに — 「患者中心」のコンセプトは腹膜透析の可能性を追求する原動力となっている —	中山 昌明 7
1. なぜクリニックで腹膜透析なのか —	宮崎 正信 9
2. 現在の腹膜透析のスタイル — もはや CAPD は基本ではない	
(1) インクリメンタル PD —	櫻田 勉 17
(2) 社会復帰を支える併用療法の現況と治療成績 —	井尾 浩章 21
3. 展開する腹膜透析の医療連携	
(1) 高齢者対策 — assisted PD —	松本秀一朗 27
(2) 医療過疎地における遠隔医療連携の実例 —	森 建文 36
(3) 在宅医の工夫 —	緒方 彩人 43
(4) 訪問看護・訪問診療 — 事例紹介 —	正木 浩哉 47
4. 実践編 — 透析クリニックで行う看護と治療の実例	
(1) 出口部ケア・入浴方法・出口部感染・トンネル感染の予防 —	笠原由美子 他 55
(2) 適正透析の評価 —	伊藤 雄伍 61
(3) 高齢腹膜透析患者への支援 — フレイル対策 —	矢部 広樹 他 67
(4) 在宅 PD 患者を支援する — 具体的内容 —	片岡今日子 73
[コラム] 高齢腹膜透析患者への栄養指導のポイント —	廣畑 順子 81
腹膜透析はいつまで継続が可能なのか？	
— 被嚢性腹膜硬化症回避の視点から —	笠井 健司 85
新しい制度・腹膜透析認定指導臨床工学技士制度とは —	土谷 健 他 87

ワンポイント
アドバイス

- PD+HD 併用療法について情報提供するタイミング ……23
- PD 導入施設が実施する訪問看護の意義 ……57

用語解説

往診と訪問診療/13, 緩和腎臓病/13, assisted PD/48, APD/48, 出口部感染/56, 皮下トンネル感染/56, 特定疾病療養受療証[®]/76, 東京都難病医療費助成[®]/76

OPINION 人工知能 (AI) とどう付き合うか

塚本 達雄 5

編集委員	鈴木 正司	伊丹 儀友	小松 康宏	西 慎一	中山 昌明	加藤 明彦	花房 規男
	鶴屋 和彦	下山 節子	佐藤 久光	中原 宣子	三村 洋美	市川 和子	齋藤かこ
	山下 芳久						
編集顧問	川口 良人	浅野 泰					

〈本特集担当編集委員：中山 昌明〉

連載 ●

透析患者の薬、どう使いわけ？／

抗凝固・抗血栓療法：脳血管障害 ————— 鶴屋 和彦 89

症例による透析患者の画像診断／

CT アンギオグラフィにより腋窩の静脈瘤を伴う動静脈瘻を認めた 1 例 ————— 吉村 和修 97

ケース・スタディ／

人工血管（AVG）直上に瘻孔が生じた 1 例 ————— 稲垣 浩司 他 103

透析食のレシピ／チャプチェ、なすの肉巻き ————— 北岡 康江 102

■ 読者参加の誌面作り 1

※連載「HIF-PH 阻害薬への期待と懸念」は編集の都合により、本号に掲載しておりません。

ご案内 42, 96 次号予告・頻出略語一覧 107 編集後記 108

Theme of this month ● Expanding literally true home medical care for patients by peritoneal dialysis

- | | | |
|---|------------------------|----|
| 1. The era of peritoneal dialysis at local clinics has arrived | Masanobu Miyazaki | 9 |
| 2. (1) Incremental peritoneal dialysis | Tsutomu Sakurada | 17 |
| (2) Current status and treatment outcomes of PD+HD combined therapy to support social rehabilitation | Hiroaki Io | 21 |
| 3. (1) Expanding medical collaboration for peritoneal dialysis — strategies for aging dialysis patients/assisted PD | Shuichiro Matsumoto | 27 |
| (2) Telemedicine cooperation in medical underpopulated area | Takefumi Mori | 36 |
| (3) Cooperation between home doctors and core hospitals — Edogawa Hub & Spoke model | Ayato Ogata | 43 |
| (4) Points of collaboration between home-visit medical care and home-visit nursing for home peritoneal dialysis | Hiroya Masaki | 47 |
| 4. (1) Monitoring of catheter-related infection and exit-site care | Yumiko Kasahara, et al | 55 |
| (2) Evaluation of adequate dialysis | Yugo Ito | 61 |
| (3) Support for elderly patients undergoing peritoneal dialysis and frailty prevention | Hiroki Yabe, et al | 67 |
| (4) Support for peritoneal dialysis patients at home | Kyoko Kataoka | 73 |

■お知らせ 投稿論文は電子メールにて受け付け致しております。
 投稿規定が改訂となりましたので、規定をよくご確認のうえ、ご投稿ください。
http://www.nmckk.jp/nmckk/pdf/ContributionRule_JJCD.pdf
 株式会社 日本メディカルセンター

*本誌に紹介される治療法については、先端的・研究的な治療法を含み、また筆者の個人的な見解もあり、必ずしも普遍的な治療法ではないものもあります。